

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

研修の工夫～コメント記録～／幼保連携型認定こども園常磐会短期大学付属いずみがおか幼稚園（大阪府）

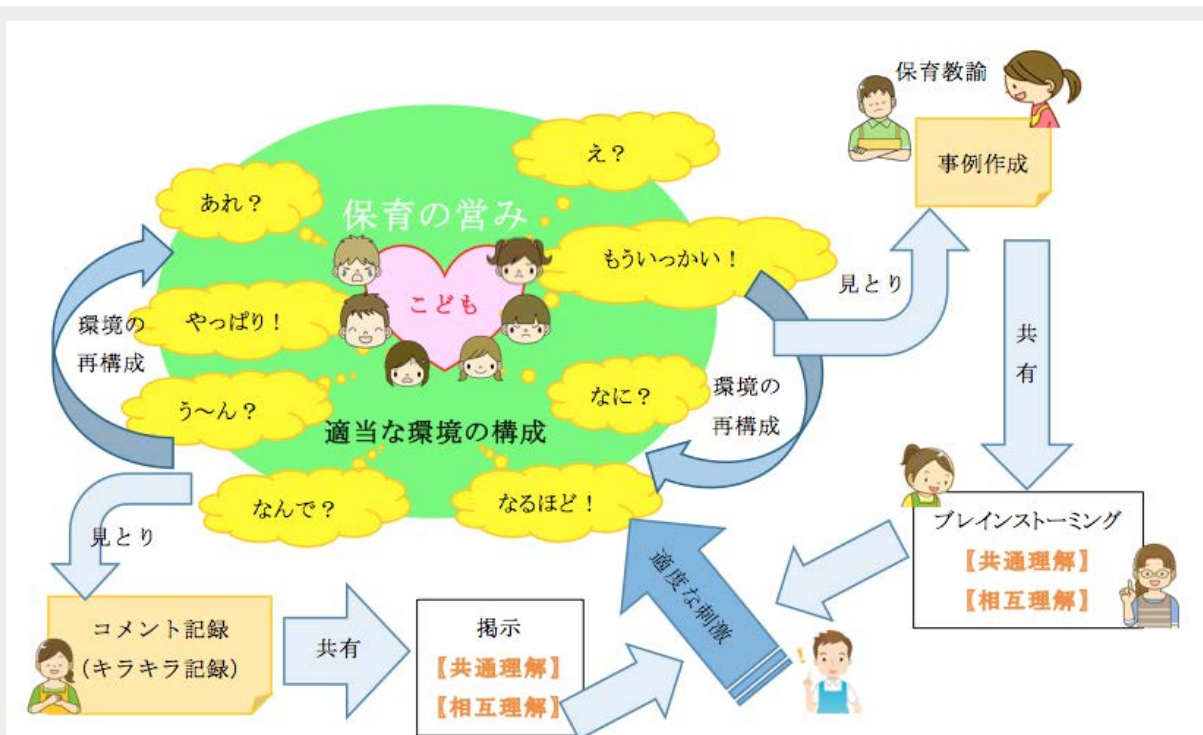
子どもたちの姿をどのような形で記録していますか？
また、その記録を園の職員間で、どのように共有されていますか？
「科学する心」が育まれると思われる子どもの同じ場面を見ても、保育者によって、感じ方や読み取りは様々だと思います。
互いの意見を共有することは、子ども理解の深まりに繋がります。
今回は、日常の遊びの中で子どものキラキラした姿に注目し、コメント記録を取り、園内研修でそれらを共有することで、環境の構成・再構成に活かしている園の事例をご紹介します。



「あれ？」「あっ！」に気付いた瞬間／3歳児～5歳児

園周辺の恵まれた自然環境や、幼児期にふさわしい環境構成の中での子どもたちの姿を見取り、毎年テーマを決め、実践事例研究や研究保育を行い、保育者たちは“子どもの育ちの学び”を深めたことを、保育に活かすように日々努めてきた。これは保育者たちの中で当たり前ともいえる保育活動の流れとなっている。27年度に、「認定こども園」として改めてスタートし、「みんなで子どもを見つめていこう！～難しいこと、特別なことでなく、当たり前の生活の中で、子どもの科学する心の芽生えを見つけていこう！～」をテーマに定めた。日ごろ見逃しがちな子どもの姿の中にある子どもの思いや気づきに着目したり、子どもが自発的に始めた遊びや活動の中で「科学する心」の芽生えに繋がる活動を見取ったり、年齢に応じた心の動きを改めて見取ったりしていくこととした。そして、取り組みの流れは以下のようにした。

✦ 取り組みの流れ



- 「科学する心を育てる」ことを、当たり前の中での子どもの気づきや子どもの視点から、改めてよく見ていくことで、「子どもたちの遊びへの探求心はあらゆる場、あらゆる時もフル回転している」と保育者自身も再確認できた。再確認というより新たな気づきに近いものがあった。
- 子どもの「今」に感動できる集団であることを目指しつつ、今後も子どもを見取り、記録を続ける努力をしていきたい。子どもの「!」「?」を引き出す環境を探していきたい。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」